

ある郷土史家から見たふるさと高津

～上田恒三氏 寄贈史料より～

殖産興業を前にした溝ノ口の当時の様子



[明治5年の富岡製糸場錦絵]

官営富岡製糸場に代表されるように殖産興業は明治の新政府にとって大変重要な歴史的な事業でした。

溝ノ口周辺ではこの殖産興業がどのような背景で進められていったのかについて史料をもとに解説します。

開催期間

6月27日（土）～7月26日（日）

午前10時～午後5時 ふるさと館 展示室 【入場無料】

—企画展記念講演会—

7/19（日）

参加者の募集

午前10時～12時

◆演 題 「明治期の殖産興業の背景とその影響」

◇講 師 渡辺 賢二氏（元明治大学大学院講師）

—会場案内図—

元法政大学第二高等学校教諭
元明治大学大学院講師
著書「近現代日本をどう学ぶか」（教育資料出版会）
「陸軍登戸研究所と謀略戦」（吉川弘文館）
その他多数



JR南武線 武蔵溝ノ口駅 下車 徒歩7分
東急田園都市線 高津駅 下車 徒歩5分

◇会 場 大山街道ふるさと館 イベントホール

◆募集人数 60名（先着順）

◇参加費 300円（資料代含む）

◆申し込み 電話、FAX または窓口（6/15受付開始）